

ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

1
2
3
4

学年・教科

5年・総合的な学習の時間

単元名

「今、わたしたちにできること」

実践者（所属）

中村 幸江（下小田中小学校）

活動を始める前に

（1）準備するもの

コンピュータ、プロジェクター、スクリーン
【使用ソフト】パワーポイント

（2）ICT機器やメディアの活用のねらい

パワーポイントでまとめることで、調べたこと・実践したことを的確に相手に伝えることができることを知る。

パワーポイントのアニメーション機能を使うことで効果的に伝えることができることを知る。

5

指導計画

時	児童の活動	指導上の留意点
1	友達に伝えたいことを決める。	一番伝えたいことを決めさせる。
2	伝えたいことを画面ごとに考え、スライド	一つのスライドに長い文章ばかりにならないよう伝える。
3	ごとのワークシートに記入する。	
4	ワークシートにまとめたことをパワーポイントで作成する。	伝えたいことが明確になるように文字の大きさや書体、色なども考えさせる。
5		アニメーション機能の効果的な使い方について伝える。
6	できあがった画面をアニメーション機能を使い、効果的に表現する。	

6

活動の流れ

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
4	パワーポイントでプレゼンを作る。	文字の大きさや色などを考えながら画面を作る。
5	新聞を作るような文章にせず、知らせたいことが一目で分かるように表現するように助言をする。	表やグラフにする場合はまとめておき、必要があれば表やグラフを作って表現する。
6	アニメーション機能について知らせる。作ったスライドをより効果的に表現するためにアニメーション機能を使い表現する。色々な表現方法を使いすぎないように助言する。	アニメーション機能の使い方を知る。伝えたいことがより効果的に伝わるように、アニメーション機能を使い表現する。内容にあったアニメーション効果を考える。

7

取り組み後の子ども達の変容や成果

今までキューブキッズのプレゼン機能を使っていたが、パワーポイントを使うことで表現の幅が広がった。

キューブキッズにはなかったアニメーション機能を使って表現することで、自分の考えをより効果的に表現することができた。

8

応用できます！

まとめや発表会等に紙ベースで発表することが多いが、パワーポイントでまとめ発表することで、調べたこと・学習したことがより明確に表現することができ、相手に伝わりやすくなる。写真を使って説明をするときに、写真に必要な言葉を入れておくだけでも伝えたいことが表現しやすくなる。